

福祉のまちづくり

みなさんの ハート重なり 地域福祉

“お互いさまのまちづくり”

第152号

平成23年 6月 1日



大町病院を守る会
美化活動を行いました。
(5月22日)



地域ぐるみで
病院を支えたい…



大町病院を守る会では、プランターへの植栽や玄関周辺の草取りを行いました。

北村喜男代表は、「5月29日病院祭開催に向け、私たちにできることを考え行動しました」。

降雨での作業でしたが、プランターは病院祭当日、ステージを飾り、終了後は玄関周辺を彩る予定。

参加した会員からは「病院を花で飾れば雰囲気も変わり、心が和む。地域ぐるみで病院を支えることができれば」と話していました。

主な内容は

- ・平成23年度 社協役員の紹介
- ・平成22年度事業報告・平成23年度事業計画
- ・あなたにインタビュー
- ・大北地域心配ごと相談日程（6月～7月）
- ・各種募集のご案内

平成23年度 社協役員の紹介

大町市社会福祉協議会は、地域の福祉関係団体の方に参加いただき「誰もが安心して暮らし続けることができる地域づくり」の実現に向けて活動しています。

平成23年4月1日付で新態勢が決まりましたのでお知らせします。(任期2年間)



会長 黒岩良介
(学識経験者)



副会長 柳澤 滋益
(社地区社協会長)



副会長 北原 和好
(市民生児童委員協議会長)

社会福祉協議会を取り巻く状況は、大きく変化し的確な事業運営が求められます。

さまざまな福祉制度への対応はもちろんです。住民のニーズに応えられるよう皆様のご協力をいただき努めてまいります。

- 理事 (17名 正副会長含む)
- 鷲沢 徳司 (大町地区社協会長)
- 西澤 清 (平地区社協会長)
- 青木 亮佐 (常盤地区社協会長)
- 石川 雄三 (八坂地区社協会長)
- 飯沢 要 (美麻地区社協会長)
- 上條 昭雄 (市老連会長)
- 川上 紀源 (市日赤奉仕団副委員長)
- 栗林 幸雄 (市身障協会長)
- 原 和美 (小地域福祉ネットワーク代表)
- 岡部 康江 (ボランティア団体代表)
- 武内 元雄 (市連合自治会長)
- 西沢 正敏 (市福祉事務所長)
- 宮坂 岳至 (社会福祉事業団体等代表)
- 宇田 義一 (市社協事務局長)

- 監事 (2名)
- 高橋 厚 (学識経験者)
- 前田 敏博 (学識経験者)

応援します! 福祉のまちづくり ~私たちにご相談ください~

地域福祉

~地域の支え合いや、隣近所の交流促進に関するご相談は~



大町市総合
福祉センター
Tel.22-1501
(丸山和也)



八坂地域
福祉センター
Tel.26-2100
(八木方子)



美麻地域
福祉センター
Tel.29-2341
(高橋裕子)

生活の援助

~日常の金銭管理や、生計についての不安など~



大町市総合福祉センター
Tel.22-1501
(栗林純一)

ボランティア

~始めたい、紹介してなど~



大町市総合福祉センター
Tel.22-1501
(飯沢喜久子)

~ 苦情はこちらへ ~

社協の事業についてのご意見、ご要望、苦情等お気軽にご相談ください。

事業名等	電話番号 (苦情受付担当者)	
法人・総務企画課全般	22-1501 (大塚裕明)	
介護 保 険 事 業	ケアマネージャー	26-3860 (横澤 健)
	ホームヘルパー	21-3715 (栗林節子)
	訪問入浴介護	21-3715 (丸山智恵子)
	デイサービスひなたぼっこ	21-3220 (小野澤博幸)
	デイサービスこすもす	22-1485 (曾根原由次)
	デイサービスみさか	26-2100 (勝野良美)
	デイサービスみあさ	29-2341 (山田梅子)
障 害 ・ 児 童 福 祉 事 業	ひまわりの家	22-4956 (菅澤 岳)
	たんぼぼ	23-3650 (菅澤久江)
	すずらん	26-3870 (松下恭子)
	ハーモニールーム	26-3855 (平林康子)
スクラム・ネット	26-3855 (松井幸夫)	

平成22年度 事業報告・決算

【事業報告】 地域福祉活動計画に沿い、平成22年度の事業を実施しました。

1. 法人運営事業

法人の安定運営と市民の意識啓発に取り組みました。

- ・広報紙年6回発行、ホームページ開設準備
- ・福祉功労者に表彰状、高額寄附者に感謝状を贈呈
- ・寄附金2,049,692円、義援金7,940,642円
- ・会員組織の強化(募集チラシ作成、使途の広報等)

一般会員		特別会員	
7,974世帯	478万円	748名	224万円

※ご協力ありがとうございました。

2. 地域福祉活動の推進

地域の支え合い、ふれあいネットワークの構築に努めました。

- ・小地域福祉ネットワークの設立(新規1地区)
- ・災害時支え合いマップの作成支援(説明会3回)
- ・ボランティア活動の推進(登録78団体、5,627人)
- ・福祉教育の推進(福祉体験等職員派遣延33回)
- ・ボランティアニュース年6回発行

3. 在宅福祉活動の推進

誰もが住み慣れた地域で安心して暮らしていける福祉環境の整備に努めました。

- ・判断能力が不十分な方への日常生活自立支援事業
- ・公共交通機関利用困難者への輸送サービス事業
- ・在宅介護者リフレッシュ事業(11/19(金)23名参加)

4. 介護保険事業

介護保険サービスの利用者は増加しました。

- ・居宅介護支援事業…適切なケアプランの作成
- ・訪問介護事業…ヘルパー派遣回数増加傾向
- ・訪問入浴事業…中山間地域を中心に実施
- ・通所介護事業…認知症対応型のひなたぼっこを開設

5. 障がい者福祉活動

- ・自主製品の制作販売や受注作業等を通じた障がい者の就労機会の提供(ひまわりの家・すずらん)
- ・重度障がい者の日中活動を通じた身体機能の維持と社会参加の促進(たんぼぼ)
- ・障がい者の趣味を生かした講座型の通所サービス(ハーモニールーム)
- ・障がいに関する各種相談・支援を総合的に実施(スクラム・ネット)
- ・障害者自立支援訪問介護…ヘルパー派遣回数増加
- ・障がい者希望の旅事業(7/16(金)34名参加)

6. 経済的支援事業

支援が必要な方に対して、経済的自立と生活意欲の助長を図るための資金の貸付や見舞金等の支給を行いました。

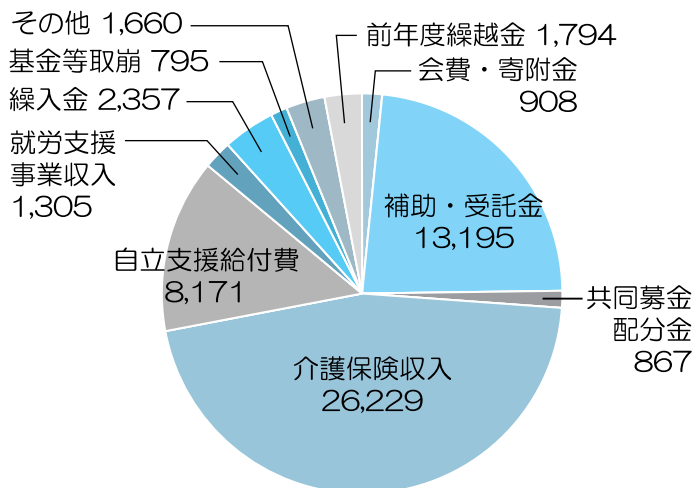
- ・資金貸付(生活福祉資金20件、小口資金3件)
- ・罹災世帯援護(見舞金4件、寝具支給3件)

【決算】

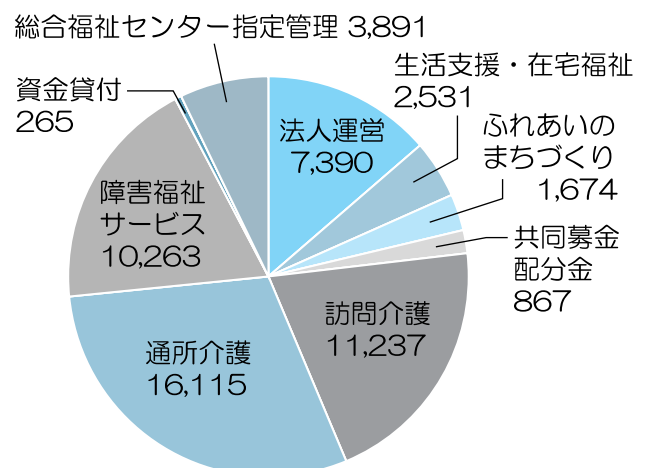
業務の効率化と経費の節減を徹底するとともに、利用者の積極的な受け入れ態勢の整備に努めました。

障害福祉サービス利用者が増加傾向にあり、障害者自立支援給付費は前年度比10.7%増となっています。

(単位：万円)



収入 5億7,281万円
(572,805,410円)



支出 5億4,233万円
(542,329,788円)

平成23年度 事業計画・予算

目標「誰もが安心して暮らし続けることができる地域づくり」

【重点目標】

- ①住民参加・協働による福祉社会の実現
- ②地域における利用者本位の福祉サービスの実現
- ③地域に根ざした総合的な支援体勢の実現
- ④地域のニーズ調査・研究に基づく先駆的な取り組みの実践

【主要事業】

1. 法人運営事業

(1) 安定した法人運営と健全な財政運営

- ・経費節減を徹底します。
- ・事業運営費積立金の活用方針を確立します。
- ・理事、評議員の定数見直しを検討します。



理事会の様子

(2) 会員組織の強化

- ・会費の用途についてわかりやすい広報に努めます。
- ・会費納入方法の改善について検討します。

(3) 広報・啓発活動の実施

- ・広報紙やホームページ等を通じてわかりやすい広報を行います。

(4) 地域のニーズ調査・研究

- ・各事業において、必要に応じて事業内容や対象等についての調査・研究を行います。

2. 地域福祉活動の推進

(1) 各種相談事業

- ・暮らしの中の悩みごとについて、解決の糸口を見出せるよう、定例心配ごと相談のほか、司法書士や弁護士による専門相談所を開設します。

(2) ふれあいのまちづくり事業

- ・小地域福祉ネットワーク活動を推進します。
- ・災害時地域支え合いマップ作りを支援します。



マップ作成研修会

- ・市民ふれあい広場の開催を通じて、住民参加による地域福祉活動を推進します。

(3) ボランティアセンター運営事業

- ・ボランティアセンター運営委員会を開催し、ボランティアセンターの機能強化に努めます。
- ・災害時ボランティアセンターの運営方法について検討します。

3. 在宅福祉活動の推進

(1) 日常生活自立支援事業

- ・判断能力が十分でない方が安心して地域で生活できるよう支援します。
- ・福祉サービスの利用援助や日常的金銭管理サービスなどを提供します。

(2) 福祉輸送サービス事業

- ・単独では公共交通機関が利用できない方のために、福祉車輻を用いた輸送サービスを行います。
- ・福祉車輻の貸し出しも行います。

(3) 在宅介護者リフレッシュ事業

- ・高齢者や障がい者を介護している家族等の心身の疲れをいやし、元気の回復を図る事業を実施します。

4. 介護保険事業

(1) 居宅介護支援事業

- ・介護認定者の状況に応じた適切なケアマネジメント（介護に関わる連絡調整など）を行います。
- ・研修会等によりケアマネージャー（介護支援専門員）の資質向上に努めます。

(2) 訪問介護事業

- ・訪問介護員による家事援助や身体介護のサービスを提供します。

(3) 訪問入浴事業

- ・入浴設備を搭載した車輻を用いて、看護師と介護員による自宅での入浴サービスを提供します。

(4)通所介護事業

(ひなたぼっこ・こすもす・みさか・みあさ)

- ・介護を要する方を日中お迎えし、相談員による生活相談や看護師による機能訓練のほか、食事の提供や入浴サービスを行います。



デイサービスみさか 利用者とおやき作り

5. 障がい者福祉活動

(1)就労継続支援B型事業(ひまわりの家・すずらん)

- ・自主製品の製作販売や受注作業等を通じて障がい者の継続的な就労機会を提供します。

(2)生活介護事業(たんぼぼ)

- ・重度障がい者の日中活動を通じて、身体機能を維持するとともに、社会参加を促進します。
- ・理学療法士や看護師によるケアの充実を図ります。

(3)障害者地域活動支援センター(ハーモニールーム)

- ・障がい者の生きがいづくりのため、趣味を生かした講座型の日中活動の場を提供します。
- ・創作活動による作品の発表機会を提供します。

(4)大北圏域障害者総合支援センター

(スクラム・ネット)

- ・障がいに関する各種相談・支援を総合的にを行います。
- ・障がい者の就職に向けた準備支援や就職後の職場定着の支援を行います。
- ・専門員が小中学校を巡回し、発達障害の早期発見と情報提供を行います。

6. 経済的支援事業

(1)資金貸付事業(生活福祉資金・小口資金)

- ・諸事情により困窮状態にある世帯に対し、経済的自立と生活意欲助長を図るための資金貸付を行います。

(2)被災世帯に対する見舞金等の支給

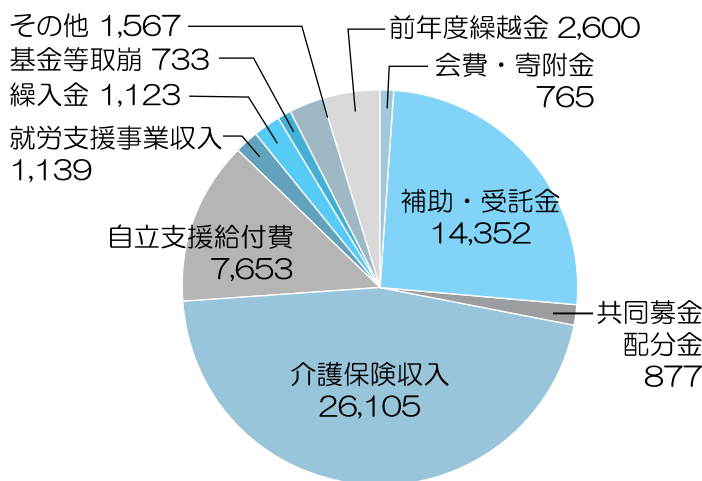
- ・災害等による被災者又はその遺族に対して見舞金等の支給を行います。



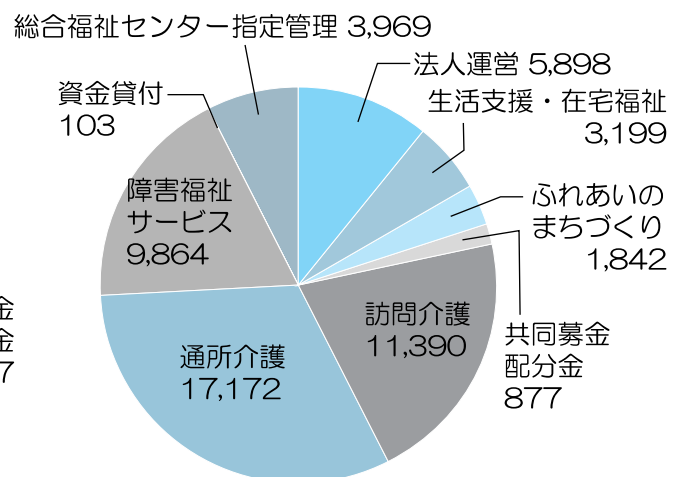
ひまわりの家作業風景

【予算】

(単位：万円)



収入 5億6,913万円
(569,135,000円)



支出 5億4,313万円
(543,135,000円)

“もし、災害が起きたら何が心配ですか?”



住むところやお金
が心配。

お金は持っていて
も、銀行に預けても
同じだと、東北大震災を見て
思った。

昔に比べて近所付き合いが少
なくなってきた、災害が起きた
ときの助け合いや避難所での生
活が心配。

(南原町 丸山 芳夫さん)



東北大震災が
起きて、自分
でも地震が起き
たらどうしよう
か考えるように
なった。

自分の住まいから
もダムが一番心
配。地震が起き
たらまずは、高
いところへと
自宅裏の丘へ登
ろうと考えてい
る。

(平野口 工藤 久登さん)



一番は家族の安
否。日中は学校
や仕事で家族は
バラバラで心配
。東日本大震災
が発生して3日
後に生まれた子
で、当時ミルク
や紙おむつが店
頭からなくなっ
て困った。今住
んでいる場所は
、近所付き合い
も少なく周りの
ことはほとんど
わからない。ど
うなるんだろう
と考えてしまう
。

(常盤 勝山さん)

つながりが大切だ…



仕出し業の商売
柄、災害などが
起きた場合、炊
き出しを行う
ようになってい
る。自分が被災
したらどうやっ
て炊き出しをす
るのか心配。

報道でみると、
被災地ではみ
んなが助け合っ
て生活してい
る。

“つねひろ”の
人間関係が大
事と改めて感じ
ている。

(大新田町 荒川 松子さん)



自宅の耐震診断
を受けたら、震
度5で危険と診
断されてから心
配。でも、私の
地域は、みんな
が何かしらの役
に任じて月に1
度は顔を合わ
せる。いざとな
ったら互いに助
け合って乗り越
えられる気がする
。今のうちに、
避難場所や危険
箇所がわかっ
ていると安心な
ので、勉強した
い。

(美麻二重 山野 喜久子さん)



デイサービス等
大勢の人と一緒
にいるときはいい
が、96歳になる
し一人だけで
避難することは
大変。昔、地震
が起きたときは
、近所で集まっ
て声をかけあっ
たもんだが、今
は、自分自身あ
まり出掛けな
いし、人との付
き合いも少なく
なってしまう
。やっぱり誰か
に助けてもら
いたいねえ。

(社 羽田 忠夫さん)



『災害時住民支え合いマップ』で解決できることがあります。

(災害発生時に必要な情報を地域で共有しましょう)

避難場所などの防災情報

- * 災害時、どこに避難したらよ
いのかご存知ですか?
- * 避難場所に行く安全な道を確認
していますか?

災害時の地域資源情報

- * 水道が断水!でも井戸があっ
て助かった。
- * 電気やガスが止まった時、ご飯を
炊くのに?そうだと薪があった。

助けが必要な人の情報

- * 隣のお婆ちゃん一人暮らしだ
けど大丈夫かな?
- * 災害の時、車いすで避難でき
るのかな?

支え合いマップを作っても全ての問題は解決できません。
でも、何もしないより役立つことが多くあるはずですよ。



社協では、災害発生に備えて自治会単位での「災害時住民支え合いマップ」の作成を推進しています。
「詳しく話を聞きたい」「作ってみたい」などお気軽に 市社協 (TEL22-1501) までお問い合わせください。

事前予約にご協力ください。 ☎22-1501 (大町市)

大北地域心配ごと相談日程 6月・7月

	開催日	時間	相談内容	担当者	場所	開催者・連絡先
6月	6月6日(月)	13:00~16:00	心配ごと相談	心配ごと相談員	大町市総合福祉センター	大町市社協 ☎22-1501
	〃	13:00~15:00	司法書士相談	司法書士		
	6月13日(月)	15:00~16:00	心配ごと相談	心配ごと相談員		
	6月20日(月)	13:00~16:00	心配ごと相談	心配ごと相談員		
	〃	13:00~15:00	司法書士相談	司法書士		
	6月27日(月)	13:00~16:00	心配ごと相談	心配ごと相談員	八坂支所	八坂地域福祉センター ☎26-2100
	6月24日(金)	13:00~15:00	心配ごと相談	心配ごと相談員	やすらぎの郷	池田町社協 ☎62-9544
	6月14日(火)	13:30~15:30	なんでも相談	心配ごと相談員		
	6月28日(火)					
	6月1日(水)	13:00~15:00	生活相談 行政相談	民生委員・ 行政相談員	ゆうあい館	松川村社協 ☎62-9000
6月1日(水)	13:00~16:00	人権・ 心配ごと相談	人権擁護委員	白馬村保健福祉 ふれあいセンター	白馬村社協 ☎72-5000	
6月8日(水)	13:30~16:00	心配ごと相談	司法書士・ 民生委員	小谷村 開発センター	小谷村社協 ☎82-2430	
7月	7月4日(月)	13:00~16:00	心配ごと相談	心配ごと相談員	大町市総合福祉センター	大町市社協 ☎22-1501
	〃	13:00~15:00	司法書士相談	司法書士		
	7月11日(月)	13:00~16:00	心配ごと相談	心配ごと相談員		
	7月25日(月)	13:00~16:00	心配ごと相談	心配ごと相談員		
	〃	13:00~15:00	司法書士相談	司法書士		
	7月25日(月)	13:00~15:00	心配ごと相談	心配ごと相談員	美麻総合福祉センター	美麻地域福祉センター ☎29-2341
	7月12日(火)	13:30~15:30	なんでも相談	心配ごと相談員	やすらぎの郷	池田町社協 ☎62-9544
	7月26日(火)					
	7月6日(水)	13:00~15:00	生活相談 人権擁護	民生委員・ 人権擁護委員	ゆうあい館	松川村社協 ☎62-9000
	7月12日(火)	13:00~15:00	心配ごと相談	人権擁護委員・民 生委員・司法書士	白馬村保健福祉 ふれあいセンター	白馬村社協 ☎72-5000

◎お気軽にご相談ください。
このほか、【常設相談】土日
祝日を除き毎日受け付け
ています。 ☎22-1501

★電話相談 どんな悩みごともお気軽にどうぞ。

★日常生活自立支援 障がい者・高齢者の方で、ご自分で判断することが難しく、
日常生活や財産管理についてお困りの方。

★ボランティアセンター(社協内) ボランティアについての相談。

障害福祉サービス事業所 ひまわりの家 自主製品コーナー

家庭でできるリサイクル 『ぼかし』

米ぬかや粉殻にEM菌を混ぜ、発酵させてつくる「ぼかし」。
生ゴミを処理して、さまざまな用途にお使いいただけます。
是非、お買い求めください。

(利用用途).....

- ①畑や庭木の肥料として使えます。
- ②生ゴミ処理過程で出た液体は、液肥として使用できるほか
トイレや排水溝に流すと消臭効果があります。



～詳しいことは、ひまわりの家まで～ TEL22-4956

ふれあいの窓 H23.3.1~4.28(敬称略)

善意の寄附をありがとうございます

【現金】 昭和電工(株)大町事業所 50,000円
大町ソフトボール連盟 67,000円

【物品】 お手玉多数 太田裕美
ポータブルトイレカラオケマイク 匿名
【使用済はがき・テレカ・切手等】
市川尊典/東中原町なずなの会/その他匿名多数

愛称募集



輸送サービス車に 名前をつけてください

公共交通機関が利用できない方の支援として、福祉輸送サービスを行っています。

1台が増車となりました。この車両に愛称をつけてください。

■応募方法

- ・応募用紙か官製はがきで応募ください。
- ・はがきに「愛称」「住所」「氏名」「電話番号」を明記してください。
- ・採用作品には記念品を贈呈。

■募集締切 7月29日（金）消印有効

■問い合わせ先 市社協 TEL 22-1501

*現在、運行の車両には「ゆったり号」「ほほえみ号」の愛称がつけられています。

*応募用紙は社協事務局にあります。

参加団体募集

市民ふれあい広場

10月8日(土)

お待ちしております

開催



今年は、東日本大震災復興支援イベントとして開催します。

支えよう東北! がんばろう日本! を合言葉にふれあい広場を一緒に盛り上げませんか。

多くの団体のご応募をお待ちしています。

■募集締切 6月30日（木）まで

■問い合わせ先 実行委員会事務局（市社協内）
TEL 22-1501

受講生募集

保育サポーター 養成講座



緊急時や行事の日、働くお母さんが困ったときなど子育て中のファミリーを応援します。

■期日 6月30日 7月7日 7月14日
(全て木曜日開催)

■場所 平公民館・女性未来館ピュア

■内容 子どもの食や遊び方、乳幼児救急救命等の講習

■申込 6月24日（金）までに
女性未来館ピュアへ TEL 22-0694

塾生募集



小中学生

ボランティア塾

毎月1回土曜日開催

障がいのある方やボランティアと福祉体験や交流をしながら友達をつくりませんか。

■期間 6月～2月の毎月1回土曜日
9:30～12:00

■場所 大町市総合福祉センター

■内容 点字や手話、要約筆記、安曇養護学校の学園祭に出かけます。

■対象 市内小学4年生～中学3年生

■申込 担任の先生へ申し込みを。

■締切 6月17日（金）まで

■問い合わせ先 市社協 TEL 22-1501

「福祉のまちづくり」へのご意見、ご希望、投稿などみなさんの声をお寄せください。

〒398-0002 大町市大町1129 大町市総合福祉センター内

編集・発行；社会福祉法人 大町市社会福祉協議会 地域福祉係 TEL22-1501 FAX22-7071